２０２０年度 学術研究奨励賞 研究計画書

提出日　〇年〇月〇日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **応募者氏名** | （ふりがな） | 例）せんい　たろう |
| （漢　字） | 例）繊維　太郎 |
| **年齢****(2016.12.31現在)** | 例）３０歳 （1998年　6月生まれ） |
| **所属機関・会社** | 例）繊維大学／株式会社　繊維機械産業 |
| **部局** | 例）工学部繊維工学科／研究開発本部 |
| **職位・職務** | 例）助教／研究員／社員（開発担当） |
| **学位** | 例）博士（工学）／修士（工学）／学士（学術） |
| **現在の専門** | 例）繊維と繊維機械の研究 |
| **研究課題名** | 例）繊維の紡糸に関する温度場の影響 |
| **研究期間** | 年　　月～　　　　年　　月（計　　年間）※原則3年以内 |

|  |  |
| --- | --- |
| **連絡先：氏名** |  |
| **：住所** | 〒 |
| **：**E-mail |  |
| **：**Tel/Fax | Tel: Fax: |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **推薦者(学会員)****所属等／氏名** | 応募に際して本学会員の推薦を必要とします。 | 　印 |
| **推薦者****所属機関／氏名** | 会社等で許可が必要な場合に記入してください。　　　　　　　　　 | 　印 |

学術研究奨励賞　研究計画書

**１**

|  |
| --- |
| **研究目的**本欄には、研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。①　研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び位置づけ、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容等）②　研究期間内（原則三年以内）に何をどこまで明らかにしようとするのか③　当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義 |
| **研究目的（概要）※ 当該研究計画の目的について、簡潔にまとめて記述してください。** |
|  |

**２**

|  |
| --- |
| **研究計画・方法**本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述した上で、適宜文献を引用しつつ記述してください。ここでは、次の点についても焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。①　本研究を遂行する上での具体的な工夫（効果的に研究を進める上でのアイディア、効率的に研究を進めるための研究協力者からの支援等） |
| **研究計画・方法（概要）※ 研究目的を達成するための研究計画・方法について、簡潔にまとめて記述してください。** |
|  |

**３**

|  |
| --- |
| **研究計画・方法（必要であればこの頁も使ってください。）** |

**４**

|  |
| --- |
| **研　究　略　歴・業　務　経　歴**本欄には、最終学校卒業後の研究履歴あるいは業務履歴を現在から順に年度をさかのぼって記入してください。その際、どのような研究・業務を行ってきたのか、研究・業務内容とともに特筆すべき事項（受賞歴等）を簡潔に記入してください。 |
|  |

**５**

|  |
| --- |
| **研究・特許等の業績**本欄には、これまでに発表した論文、著書、産業財産権（特許）、招待講演のうち、本研究に関連するものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。なお、研究業績については、本研究に深く関わるものや今までに発表した主要な論文等（10件以内）を記入しても構いません。①　例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。②　以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可。なお、申請者には下線を付してください。 |
|  |

**６**

|  |
| --- |
| **研究・特許等の業績（必要であればこの頁も使ってください。）** |